

教育心理研究部門

「人生における“やる気”のデザイン」(仮) 研究部会 (第2回)

日時：2020年6月15日(月) 13:00~16:00

場所：オンライン会議 (ZOOMにより開催)

出席：渡辺 弥生・榎本 淳子・倉住 友恵・杉本 希映・中井 大介・中谷 素之 各兼任研究員
吉久知延所長・金沢千秋・泉水里香

欠席：鈴木益弘

内容：前回に続き、各兼任研究員が興味・研究関心のあるテーマを提示。各氏の提案を基に、次回も引き続き研究会の方向性を探っていく

(1) 倉住友恵氏：大学生の未来に対する見通し(未来展望、将来展望)への注目

- ・レビュー論文の紹介：Future Time Perspective:A Systematic Review and Meta-Analysis Dorien T. A. M. Kooij, Ruth Kanfer, Matt Betts and Cort W. Rudolph(2018) Journal of Applied Psychology, 103(8), 867-893

(2) 榎本淳子氏：日本の成人先天性心疾患患者は、他国と比較してなぜ生活に満足していないのか？

- ・評定値を低くつける要因があるのではないか
- ・慢性疾患の現状を紹介。慢性疾患の増加、慢性疾患患者の置かれた世界

(3) 中井大介氏：以下の二つを検討中

1. 担任教師による欲求支援・阻害行動と教師との関係の形成・維持に対する動機づけおよび学級風土の関連(調査中)
2. 恋愛に関するわくわくどきどきに関する研究を検討している。

(4) 中谷素之氏：“動機づけ支援”について

- ・1. 関心領域について(前回と同一)
- ・現在の関心 動機づけ支援・動機づけ促進
①臨床系・医学系 ②教育心理学系

(5) 渡辺弥生氏：“わくわく”について

1. 子どものワクワク感はどこから？
2. PERMA理論から「ワクワク」を考える。日本ポジティブ心理学協会サイトの紹介

(6) 杉本希映氏：GRIT研究のメタ分析 ポジティブな結果、ネガティブも含む結果
→文献研究をして、概念の整理をする。規定要因を探る研究で考えていく

• 論文紹介

Much Ado About Grit:A Meta-Analytic Synthesis of the Grit Literature

Crede, M. , Tynan, M. C. Harms, P. D(2017) Journal of Personality and Social Psychology

113, 492-511

• 次回研究会は、2020年7月27日（月） 13時～16時